



本村幼稚園 12月の園だより

平成29年11月30日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

師走でも子供たちは元気いっぱい

園長 山村 登洋

11月上旬の園公開には大勢の保護者の皆様にご来園いただきまして、誠にありがとうございました。子供たちの幼稚園での日常の姿や活動の姿、また、1学期のころより大きく育った姿をご覧いただけたでしょうか。保護者の皆様からは、楽しかった、成長していたなどの感想を頂くことができました。「小さいなりに1日のうちに色々な葛藤や達成感を経験していつている感じを受けました。」との感想を頂きました。大人も毎日がこの繰り返しですよ。この葛藤や達成感の繰り返しが子供たちには絶対に必要なのです。葛藤は自分で悩み、最終的には自分で判断することになります。その判断が間違っていなければ、満足感や達成感に繋がりますし、たとえ間違っていたとしても、その失敗が次への成功へのステップとなります。誰だって失敗は繰り返したくないですから。だから、子供は子供なりに一生懸命に考えるわけです。よく「失敗は成功の元」と言われます。これがとても大事なことだと思います。幼稚園の「遊び」の中にはそんな葛藤や達成感、そして失敗が沢山経験できる最高の場だと考えます。これからも「遊び」を中心とした教育活動を展開してまいります。

12月に入りましたら、直ぐに展覧会が開催されます。りす組、はと組の子供たちの力作が目白押しです。特に年長のはと組は全員が力を合わせ制作した共同作品が展示されます。子供たちの一つ一つの作品には、そのお子さんの夢や希望が表現されています。作品からその子供たちの気持ちをぜひ読み取っていただきたいと思います。1日、2日はいつもの幼稚園が美術館に大変身します。どうぞ、楽しみにしててください。

師が走り回るくらい忙しい師走。そんな12月でも子供たちは、日常の園生活はもちろんのこと、展覧会、餅つき、誕生会、終業式と落ち着いた雰囲気です。2学期の最後の月を過ごしていきます。

<展覧会製作の様子>



<はと組 芋の蔓を使って飾り作り>



<りす組 アイスクリーム屋さん>